

公民館だより なかがわ

第502号

令和6年8月30日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

参加者募集

「中川福祉村大運動会」開催!

日時：10月13日(日)
場所：中川地区公民館 広場
対象：中川地区民
締切日：9月25日(水)
※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください!



【一般講座】「スマホ教室」

第1回 9月17日(火) 10:00~12:00
「スマートフォンの基本と 防災アプリ」



第2回 10月8日(火) 10:00~12:00
「スマートフォンの基本と キャッシュレス決済」

※どちらか1日のみか、両日か申込時にお伝えください。
※デモ機を使っての講習になります。お使いのスマートフォンの質問の時間も設けています。

これからスマートフォンを使いたい方も参加可能

場所：中川地区公民館 集会室

講師：携帯電話会社講師

※まだ空きがあります!

持ち物：お使いのスマートフォン

(どの会社のiphone/android どちらも可)
飲み物、必要な方は眼鏡

対象：中川地区民 各回20名まで(定員になり次第受付終了)

参加費：無料

【一般講座】

「秋の寄せ植え教室」

日時：10月18日(金)

10:00~12:00頃

場所：中川地区公民館前 駐車場(雨天時は公民館内)

講師：佐藤 淳史さん(蘭花園)

持ち物：園芸用手袋、花切はさみ、飲み物、
汚れても良い服装(エプロンなど)

材料費：2,500円(つり銭のないようにお願いします)

対象：中川地区民

定員：先着15名程度

締切日：定員になり次第受付終了

→ 昨年の寄せ植えです ←



中川地区少年少女球技大会 「グラウンド・ゴルフ大会」

日時：9月29日(日) 9:00~

場所：中川地区公民館 広場

対象：中川地区の小学1年生~6年生

参加料：無料

締切日：9月15日(日)まで、各地区子ども会
育成会会長へお申込み下さい。

※詳細は、小学校配布チラシをご覧ください!



お申込み・お問合せ：中川地区公民館 (☎679-2501)

9月・10月行事予定



9/3(火) 三者会、森開公総会、会長会
9/4(水) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)
9/6(金) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)
福祉村運動会全体会議
9/10(火) 中川地区シニア研修(一泊二日)
(※9/10(火)~11(水)終日職員不在)
9/17(火) 一般講座「第1回 スマホ教室」
9/20(金) 文化産業まつり代表者会議
9/24(火) そば打ち教室
9/27(金) パソコンクラブ
9/29(日) 少年少女球技大会

10/1(火) 市報、館報
10/2(水) 三者会、会長会、公民館運営協議会
10/4(金) 福祉村産業まつり実行委員会
10/8(火) 一般講座「第2回 スマホ教室」
10/9(水) 中川地区地域推進会議
10/11(金) パソコンクラブ
10/13(日) 中川福祉村運動会
10/15(火) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)
10/18(金) 一般講座「秋の寄せ植え教室」
子ども会育成会
10/22(火) そば打ち教室
10/23(水) グラウンド・ゴルフ愛好会大会
10/25(金) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)

グラウンド・ゴルフ愛好会
(月曜日) 9/2、9、18(水)、25(水)、30
詩吟教室 (火曜日) 9/3、17、24

ラージピンポン愛好会(木曜日) 9/5、12、19、26
スポーツ麻雀愛好会 (木曜日) 9/5、12、19、26



敬老の日（9月16日）おめでとうございます！

中川地区敬老対象者（80歳以上） 575人（令和6年6月21日現在）

〈各地区・施設 賀寿対象者人数〉

仙石地区（米寿5名） 泉川地区（米寿2名） 金谷地区（米寿5名、白寿1名） 足ノ口地区（米寿4名）
 甲石地区（米寿1名、白寿1名） 高野地区（米寿7名、満100歳1名） 薄沢地区（米寿1名）
 永野地区（米寿3名、白寿1名） 権現堂地区（米寿2名） 小倉地区（米寿4名、白寿1名）
 棚木地区（米寿3名） 長寿園（米寿6名、白寿1名） 蓬仙園（米寿2名、白寿2名、満100歳3名）

80歳以上の敬老対象の皆様へ、9月中旬頃に敬老祝品を各地区会長会よりお届けいたします。
 中川地区のこれまでの発展は、皆様方のたゆまぬ努力のおかげです。
 中川地区公民館は、より一層中川地区が向上できるよう様々な事業に取り組んで参りますので、
 皆様方におかれましては、どうぞ末永くお元気でお過ごしくさいますようお祈り申し上げます。

中川地区夏の安全パレード



7月28日（日）「中川地区 夏の安全パレード」が行われ、防犯協会正副支部長、防犯連絡員、消防団第8分団、上山市交通安全協会、上山市市民生活課、地区会長会正副会長、警察署の方々、また1日警察官として中川小学校の児童4名に参加していただきました。出発式後、パトカーを先導に、上山市交通安全指導車や消防車等10台が中川地区全域を周り、安全で安心な中川を願い防犯・交通安全を呼びかけました。1日警察官の山田 零穂さん、佐藤 颯亮さん、齋藤 友結さん、山口 媛愛さんは、出発式で委嘱状と帽子・襷をかけてもらい、パレード中の呼びかけも担い「自分たちの地域は自分たちで守る」意識を持ち、立派に任務を遂行してくれました。早朝からご協力いただきました関係者の皆様、大変ありがとうございました。



わんぱく広場

7月30日（火）わんぱく広場『花火祭り』を初めて開催しました。梅雨が開けず前日まで、ずーと雨模様で心配していましたが、見事に晴れ渡りベストコンディションで行われました。夜の事業に沢山の子どもが集まり、早く花火を始めたい気持ちが大きくソワソワ。『始めま〜す！！』の合図と共にパラシュート花火を打ち上げ、次に打ち上げ花火、最後に各自持参していただいた花火で家族はもちろん、友達と一緒に楽しく過ごすことができました。『楽しかった〜♪』『もっとやりたい〜♪』『中々出来ないのて助かります。』とたくさんの言葉をいただきました。楽しい夏休みの思い出の1ページになってくれるといいなと思っています。役員の皆さん、同伴して下さった保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



第4回中川粋いき倶楽部&中川地区一般参加者

グラウンド・ゴルフ大会

8月7日(水)、永野ふれあい広場にて、中川粋いき倶楽部と一般参加者のグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。広場は永野地区の方々がかれいに整備して下さいました。ありがとうございます!天候は、雨の予報だったため途中で降ってくるか心配しましたが、午前中はなんとか持ちこたえてくれました。場所が変わるといつものようにはいかないようで、「うまくいかない〜」と聞こえてくることもありましたが、みなさんいつもとちがう場所でのプレーを楽しんでいました。終了後は、希望者のみですが、お風呂で汗を流して、美味しい昼食をいただき、充実した時間となりました。

男性	1位	志田	慶治	さん
	2位	会田	芳広	さん
		佐藤	敬一	さん
女性	1位	鏡	洋子	さん
	2位	渡邊	トミエ	さん
	3位	木村	さよ子	さん
		鏡	恵子	さん
		小林	葉子	さん

おめでとうございます!



市道上生居堀切線・市道永野開拓線 整備促進期成同盟会総会開催

8月20日(火)、市道上生居堀切線・市道永野開拓線整備促進期成同盟会総会が22名の参加で開催されました。初めに、現地の視察をした後、公民館にて令和5年度事業報告、6年度事業・収支予算計画(案)の審議、役員選出等が行われました。



中川地区ソフトボール大会

8月25日(日)第47回中川地区ソフトボール大会が開催されました。心配された雨も降らず、「甲石」「高野」の2チームで熱戦が繰り広げられました。今回もソフトボールの公式審判資格を持つ、小倉地区の伊藤 勝宏さんより審判をしていただき、優勝は甲石チーム、準優勝は高野チームとなりました。参加して下さいました皆様、朝早くから準備して下さいました関係者の皆様、大変ありがとうございました。来年はもっとたくさんのチームの参加をお待ちしております!!



防犯功労者表彰おめでとうございます

7月19日(金)、三友エンジニア体育文化センターにて「安全安心なまちづくり上山市民大会」が開催され、中川地区より、山口 重光さん(足ノ口)が令和6年度防犯功労者として表彰されました。防犯連絡員として、地区内の犯罪抑止活動にご尽力いただき、本当にありがとうございます。

「昭和考、問わず語り（その43）」

甲石地区 高橋 正之

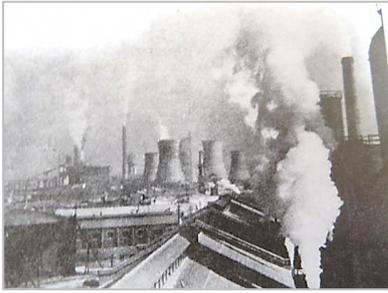
昭和七年三月、関東軍によって満州国が強引に建国されますが、本稿では、建国された満州国の国情について記述します。

〈満鉄の巨大コンツェルンの形成〉

満州国成立の一年余りのうち（昭和八年五月）、ソ連から日本に対しシベリア鉄道の一部・東支鉄道（満州の北部を東西に走るシベリア鉄道の一部、満州国成立後は北支鉄道）の売却が提案された。しかし双方の提示額に大きな開きがあったため、売買交渉が遅延として進まなかったが、翌九年一月に交渉が成立し、翌一〇年三月正式に譲渡された。

また一〇年八月には、長春とハルビンの線路の広軌を国際標準に改築し、シベリア鉄道と連結、さらに満鉄が満州国成立とともに経営を「委託された」元来の中国鉄道を経営の配下において、一方満州国成立以前から独自に建設に乗り出していた、培養線の大半の路線を満州国所有のものとした。

この結果、資本金は昭和八年には、それまでの約二倍、八億円となった（同年の国家予算が二億）。また、鉄道のほかに炭鉱・港湾の経営をはじめ付属地四万九千八ヶ戸を支配し、投資した傍系会社は昭和四年には七七社（総資本金合計七億円）で、その四九パーセントの株式を保有していた。

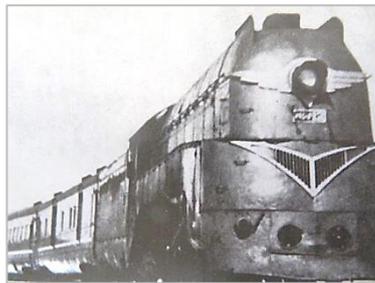


〈満鉄が関東軍の改組案を拒否〉

関東軍は、巨大な満鉄を切り崩そうと、昭和八年、鉄道経営主体の会社に縮小する「満鉄改組案」を提案し、これに対し、満鉄は、明治天皇の御遺産にしてみだりに他の干犯を許さず」とはねつけた。

〈あじあ号を運行〉

昭和九年一月一日、特急あじあ号が運転を始めた。満鉄技術陣の総力をあげた高速列車で、大連―新橋を八時間二〇分で結んだ。一〇年九月一日からは、大連―ハルビン間を一〇時間三〇分で走った。最高速度一〇〇キロ、平均速度八二キロであった。あじあ号の登場で満鉄のイメージが極めて鮮明となり、国内からの修学旅行の目玉として大いに利用された。



〈満州5カ年計画の策定〉

満州帝国の産業開発は、初期は満鉄が握っていた。それは、国家としての大まかな目標に沿って、何年か達成するといった具体的な数値を決めて、何年か達成するという具体的な産業開発方針をとろうという考え方が生まれてきた。参謀本部作戦課長・石原莞爾大佐は、早くから連年の経済五カ年計画の成果に注目していた。また陸軍全体も今後の戦争の形態を総力戦として、またえ、そのために経済活動にも戦力がやうすという統制を加える必要があるとの考え方に傾いていた。

石原は、満鉄経済調査会東京駐在員の宮崎正義に依頼し、日滿財政経済研究会という私的機関を組織させた。宮崎らの研究結果は、「五カ年計画を二回達成するまでは平和が必要」という結論だった。一〇年間、ことを構えずに日滿一体となつて経済開発を続ければ、アメリカとの「世界最終戦争」（石原莞爾の言葉）に勝利することが出来るというものであった。

宮崎らは、この計画に基づき「満州における軍需産業建設拡充計画」（昭和十一年八月）を作成し、陸軍省など関係方面に説明するが、ちょうど同じ頃（昭和十二年八月）、満鉄経済調査会でも関東軍の依頼に応じて「満州計画永年計画大綱」を作成していた。また陸軍省も独自に満州開発方策を作成し、宮崎らがまとめた計画を若干修正した「満州開発五カ年計画」に対する目標案をつくり、関東軍に示して説明したが、関東軍は「満州国経済第二期経済建設要綱」という独自案を作成していた。

そこで関東軍は、昭和十一年一〇月、満州国政府と満鉄の関係者を営口の湯崗子温泉に招待し、「満州産業開発五カ年計画」に関する非公式の懇談会を開いた。満州国政府から七人参加したが、すべてが日本人で、満州国人は一人も参加していなかった。

この会談の内容は、一月初旬「満州開発五カ年計画大綱」として発表され、その後陸軍省や関係団体と検討を加え、昭和十二年一月二十五日「満州産業開発五カ年計画要綱」が作成された。このようにして、満州の計画的な産業開発は、来るべき大戦争（相手がソ連かアメリカかわからない。石原の最終戦争論が支持されていたわけではなかった）に備えるために、最初から方向付けがなされていたのである。

〈岸信介が腹心を通じて実施〉

この満州産業開発五カ年計画を具体的に実施したのは、戦後に総理大臣を務める岸信介であった。岸は、関東軍から囑望され渡満し、商工省文書課長から満州国事業部長（事実上の通産大臣）、次いで総務庁次長（副首相格）に抜擢された。五カ年計画の立案は直接タッチしてはなかったが、腹心の椎名悦三郎は満州国に送り込み、前記の湯崗子会議に同席させていた。（岸と椎名のコンビは、岸首相、椎名官房長官の形で戦後まで続く。）

（次回は、満州の産業開発の状況と日中戦争の勃発について記述する予定です。）